

発表者の皆様へご案内

演者の先生方へ

1) 会場受付

発表者は、発表開始 30 分前には会場内左前方の、次演者席にご着席ください。

2) 発表時間

○招待講演

招待講演は、1 件あたり、40 分（もしくは 60 分）となっております。質疑応答時間を 5 分間としておりますので、発表時間は 35 分（もしくは 55 分）となります。

○一般講演

一般講演は、1 件あたり、15 分（発表 12 分、質疑応答 3 分）となっております。所定時間を超過しないようご注意ください。所定時間を超過すると打ち切る場合もございます。

3) 発表方法

ご発表にあたっては、ご自身のパソコンをご準備ください。

（会場では、液晶プロジェクターのみのご準備となります。）

液晶プロジェクターへの接続は、前々演者の発表開始後に行ってください。

プロジェクターの接続コネクタは、

ミニ D-Sub15 ピン（オス）となっ

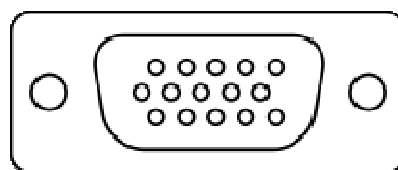
ております。ミニ D-Sub15 ピン

（メス）をコネクタに持つパソコン

をご準備ください。アップル製

のパソコンの場合は、アダプタが必要ですので、お忘れなきよう

にお願い致します。また、省エネルギー設定やスクリーンセーバーなどの設定は事前に切っておいてください。



【プログラム】(受付開始10:30~)

◀10月19日(木)▶

11:00~11:05 【開会挨拶】

五十嵐靖之 (北海道大学大学院先端生命科学研究院)

11:05~12:05 【大隅良典先生ノーベル賞受賞関連講演 N-1】

脂質の観点から考えるオートファジーのメカニズムと生理機能

中戸川仁 (東京工業大学)

12:05~13:05 【昼食】・【運営委員会】

13:05~13:20 【一般講演 O-1】

PHSは脂肪酸受容体 GPR120 の新規リガンドである

長澤智隆¹・中道ひかる¹・東山繁樹²・濱洋一郎¹・○光武進¹

(¹佐賀大学農学部・²愛媛大学プロテオサイエンスセンター)

13:20~13:35 【一般講演 O-2】

EGCrP1による *Cryptococcus neoformans* のグルコシルセラミドの品質管理機構

○渡辺昂・小原淳一郎・石橋洋平・沖野望・伊東信

(九州大学大学院農学研究院生命機能科学部門)

13:35~13:50 【一般講演 O-3】

代謝ストレス依存的インスリン抵抗性における GPRC5B と SMS2 の役割

○金然正・平林義雄 (理研脳センター)

13:50~14:05 【一般講演 O-4】

スフィンゴミエリン合成酵素 SMS2 欠損マウス脂肪組織の解析

○花松久寿^{1,2}・光武進³・湯山耕平²・酒井祥太⁴・古川潤一¹・坂本直哉¹・五十嵐靖之²

(¹北海道大学医学研究院・²北海道大学大学院先端生命科学研究院・³佐賀大学農学部・⁴国立感染症研究所)

14:05~14:20 【一般講演 O-5】

Naturally occurring sphingomyelin synthase inhibitor inspiring a sphingo-mimic

○Mahadeva Swamy M. M¹, Yuta Murai², Yusuke Ohno³, Sajeer Koolath¹, Yoshiko Suga², Masaki Anetai², Akio Kihara³, and Kenji Monde²

(¹Graduate School of Life Science, Hokkaido University, ²Faculty of Advanced Life Science, Frontier Research Center for Advanced Material and Life Science, Hokkaido University, ³Faculty of Pharmaceutical Sciences, Hokkaido University)

14:20～14:35 【一般講演 O-6】

フィトスフィンゴシン代謝に関わる新規ジオキシゲナーゼ Mpo1 の生化学的解析

○毛利圭佑¹・関直哉²・小原隆²・宮本政宗²・北村拓也²・木原章雄^{1,2,3} (¹北海道大学薬学部・²北海道大学大学院生命科学院・³北海道大学大学院薬学研究院)

14:35～14:50 【一般講演 O-7】

C24:2 多価不飽和スフィンゴ脂質の組織分布及び生合成経路の解明

○枝川茉生¹・澤井恵¹・大野祐介^{1,2}・木原章雄^{1,2}
(¹北海道大学薬学部・²北海道大学大学院薬学研究院)

14:50～15:05 【一般講演 O-8】

こんにやく由来セラミドによるエクソソームの産生促進

○高橋香織^{1,2}・湯山耕平²・向井克之^{1,2}・五十嵐靖之²
(¹株式会社ダイセル・²北海道大学大学院先端生命科学研究院)

15:05～15:20 【一般講演 O-9】

リン酸化によるセラミド輸送蛋白質 CERT の PHドメイン機能抑制機序

○江川大地¹・杉木俊彦^{2,3,4,5}・熊谷圭悟¹・児嶋長次郎^{5,6}・藤原敏道⁵・竹内恒⁴・嶋田一夫^{2,4}・高橋栄夫^{4,7}・花田賢太郎¹ (¹感染研細胞化学・²東大院薬系・³産総研 JBiC・⁴産総研バイオメディシナル情報研究センター・⁵阪大蛋白研・⁶横浜国大院工学・⁷横浜市大院生命医科学)

15:20～15:35 【一般講演 O-10】

セラミドキナーゼによるアクチン細胞骨格制御機構の解明

○冨澤智史・中村浩之・村山俊彦 (千葉大学大学院薬学研究院薬効薬理学研究室)

15:35～15:50 【一般講演 O-11】

極長鎖脂肪酸およびこれを含有するセラミドのアポトーシス抑制活性

○島田明奈・宮崎徹・高橋尚子・Md. Motiur Rahman・清水良多・辻和樹・山下量平・福田達也・小暮健太郎・田中保 (徳島大学大学院医歯薬学研究部衛生薬学分野)

15:50～16:05 【一般講演 O-12】

セラミド-1-リン酸による EphA2 動態制御機構の解明

○田森瑞貴・中村浩之・村山俊彦 (千葉大学大学院薬学研究院薬効薬理学研究室)

16:05～16:20 【一般講演 O-13】

血液中のセラミド 1-リン酸の分子種組成と生物活性

○田中保・山下量平・清水良多・森戸克弥・Md. Motiur Rahman・伊賀永里奈・島田明奈・福田達也・小暮健太郎 (徳島大学薬学部)

16:30～17:30 【海外招待講演 S-1】

Natural variation of blood plasma lipids as determined by mass spectrometry

Markus Wenk (Professor, National University of Singapore)

17:30~17:50 【会長講演 P-1】

セラミド研究 10 年の歩み

五十嵐靖之（北海道大学大学院先端生命化学研究院）

18:00~20:00 【情報交換会】

札幌マイステイズアスペンホテル<アスペン B>

◀10月20日(金)▶

9:00~9:40 【国内招待講演 L-1】

高精度 1 分子イメージングで明らかになったラフト組織化と機能

鈴木健一（岐阜大学生命の鎖統合研究センター）

9:40~9:55 【一般講演 O-14】

ホスファチジルイノシトール 4 リン酸を介したスフィンゴ脂質合成制御機構

○石橋洋平¹・伊東信¹・平林義雄²

(¹九州大学大学院農学研究院・²理研 BSI)

9:55~10:10 【一般講演 O-15】

A Novel Mouse Model of iNKT Cell-deficiency Generated by CRISPR/Cas9 Technology Reveals a Pathogenic Role of iNKT Cells in Metabolic Disease.

Yue Ren, Etsuko Sekine-Kondo, Risa Shibata, ○Hiroshi Watarai (Division of Stem Cell Cellomics, Center for Stem Cell Biology and Regenerative Medicine, The Institute of Medical Science, The University of Tokyo)

10:10~10:25 【一般講演 O-16】

ラクトシルセラミドの脂質ラフトを中心としたパターン認識受容体複合体形成による好中球自然免疫応答機構

○中山仁志^{1,2}・堀田知美¹・○岩渕和久^{1,2}

(¹順天堂大学大学院医療看護学研究科・²同医学研究科環境医学研究所)

10:25~10:40 【一般講演 O-17】

ヒトリンパ芽球細胞におけるMRN複合体-ATMアポトーシス経路のセラミドによる制御

○橋爪智恵子¹・上田善文²・Rongfen Gao¹・谷口真³・岡崎俊朗^{1,3} (金沢医科大学¹血液免疫内科学・³総合医学研究所・²東京大学総合文化研究科広域システム)

10:40~10:55 【一般講演 O-18】

スフィンゴ脂質は時計遺伝子と保湿関連遺伝子の時間依存的な発現量に影響を与える

○池島俊季・太刀川晃生 (㈱ディーエイチシー)

10:55~11:10 【一般講演 O-19】

ミカンやユズなどの柑橘類の果実に含まれるスフィンゴ脂質の分析

○今井博之 (甲南大理工生物・甲南大統合ニューロバイオ研)

11:10~11:25 【一般講演 O-20】

こんにやく遊離セラミドの角化細胞作用メカニズム

○白杵靖剛¹・田村範子²・田村具博²・東山繁樹³・丹治邦和⁴・光武進⁵・佐々貴之⁶・井上飛鳥⁷・青木淳賢⁷・向井克之^{1,8}・五十嵐靖之¹ (¹北海道大学先端生命科学研究院・²産業技術総合研究所・³愛媛大学大学院医学系研究科生化学分子遺伝学・⁴弘前大学大学院医学研究科脳神経病理・⁵佐賀大学大学院農学研究科食糧科学・⁶北海道大学大学院薬学研究院・⁷東北大学大学院薬学研究科分子細胞生化学・⁸㈱ダイセル)

11:25~11:40 【一般講演 O-21】

スフィンゴミエリン合成酵素2(SMS2)ノックアウトマウスは尋常性魚鱗癬様の皮膚症状を惹起する

○濱中すみ子^{1,7}・酒井翔太²・牧野麻美³・西明仁⁴・市川毅⁵・山下匡⁴・徳留嘉寛⁵・Debra Crumrine⁶・Yoshikazu Uchida⁶・Peter M. Elias⁶・土田哲也⁷・平林義雄⁸ (¹はまなか皮膚科クリニック・²感染研細胞化学・³理研細胞情報・⁴麻布大学獣医学部・⁵城西大学薬学部・⁶University of California・⁷埼玉医科大学皮膚科・⁸理研脳科学総合研究センター)

11:40~12:40 【昼食】

12:40~12:50 【総会】

12:50~13:00 【JSC Award 表彰式】

【Young Investigator Award 表彰式】

- 13:00～13:40 【国内招待講演 L-2】
セラミド 1-リン酸の生理機能と病態への関与
中村浩之 (千葉大学大学院薬学研究院)
- 13:40～14:40 【海外招待講演 S-2】
Imaging sphingomyelin-rich rafts using the lipid distribution specific Probes
Toshihide Kobayashi (Directeur de recherche, INSERM, France)
- 14:50～15:10 【企業シンポジウム C-1】
コメ由来グルコシルセラミドとイチゴ種子エキスに関する研究開発
○下田博司 (オリザ油化株式会社研究開発本部)
- 15:10～15:30 【企業シンポジウム C-2】
機能性表示食品とセラミド
○向井克之 (株式会社ダイセル研究開発本部)
- 15:30～15:50 【企業シンポジウム C-3】
光学活性ヒト型セラミドの機能特性について
○石田賢哉 (高砂香料工業(株)研究開発本部)
- 15:50～16:10 【企業シンポジウム C-4】
高純度植物セラミドとそのマイクロエマルジョンについて
○林彰人¹・川口奈津季¹・藤本祐希¹・濱口展年¹・金哲史²
(¹辻製油株式会社・²高知大学)
- 16:10～16:30 【企業シンポジウム C-5】
「ニップンセラミド」シリーズの上市からこれまで
○宮下留美子・間和彦 (日本製粉株式会社イノベーションセンター)
- 16:30～16:35 【閉会挨拶】
大西正男 (藤女子大学)